

「被爆者の証言に衝撃」 世界大会豊島代表団報告集会開催

9月26日、原水爆禁止世界大会豊島代表団の報告集会が、南大塚地域文化創造館で開催されました。

報告集会には代表団として参加した9名全員が参加されました。報告会では全員から発言があり「被爆者の証言を直接聞くことで一人一人の人間が体験した生々しい痛みとして心に響いた」「証言では当時のリアルな状況・感情までも目の当たりにして衝撃を受けた」など、どの方からも被爆者の証言を直接聞くことで被爆の実相を知り核兵器の



非人道性を改めて感じたことや今ある平和が当たり前ではなく平和を守ることの大切さなどが語られました。

今回の代表団には20代〜30代の参加者が3名いましたが、現在核戦争の危機に直面する中で、若い人たちに運動を広めて行くことが重要です。

安保法制の強行採決から10年 「9・19国会正門前大行動」

高山 彰光（常幹）

「今すぐ廃止」「憲法生かせ」「排外主義は許さない」と2300人がコール。

立憲民主党、日本共産党、社会民主党のそれぞれの代表からの連帯あいさつがありました。

戦後80年、安保法制10年と節目の年、戦後の平和と民主主義が、新自由主義による貧困・格差拡大、侵略と戦禍、生存権の否定により大きく揺

区労協定期大会 を成功させよう

期日 2025年11月9日
13時30分～17時
場所 アウルスポット
会議室
代議員登録は31日まで

らいでいる世界情勢です。こうした社会的危機が深刻化し、不安と不満が充満・爆発し自公を過半数割れに追い込みましたが、同時に差別と排外主義を掲げる勢力が伸長しました。「消費税廃止を叫びながら差別をふりまく」「新自由主義否定を叫ぶ新自由主義」「左から右に入ってゆく」とその反動的な本質は明らかになりつつありますが、これは決して「一時的突風」ではありません。この新しい差別主義者の主張は一定の「生活要求に根ざしている」ので私たち国民・労働者は警戒しなければいけません。「維新」が参政党に引きずられ外国人の排撃と改憲を主張するかつてない、大変危険な状況です。改憲・軍拡阻止の運動と課題は私たち国民・労働者の要求実現を進めるうえで避けて通れない重大なテーマとなって

きました。外国人の人権保障、共生社会の実現は私たち自身が生きていく上での大切な事柄です。日本の政治状況は大きな岐路に立っています。対話を通して日本国憲法を語っていきましょう。また私たち労働組合はさらに憲法と差別

教科書を考える豊島区民の会総会

を許さないことへの関連学習を深めることが重要です。日本国憲法はすなわち労働者であることをより一層自覚して、差別のない次の新しい時代と社会を準備する労働者の一員となりましょう。

日本の教育を考える学習シリーズ 2025年度 第3回 (第24回総会をかねています)


差別のない社会めざして

講演：杉井静子弁護士

—日本国憲法24条こそが最大の手がかり—

日時 11月22日(土)
14:00~16:00

場所 南大塚地域文化創造館
第3会議室



杉井静子さんプロフィール：
革新総代表世話人、
労働者教育協会副会長、
元関東弁護士連合会理事長、
元第二東京弁護士会副会長、
弁護士、
「ひめじやら法律事務所所長」

総裁になった高市さんは4歳から教育勅語を聞かされて育ったとか。教育をまた戦前のようにさせないよう注視ですね。可愛い子どもたちのために！！

憲法24条は、「婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」とし、また「配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない」と定めています。これは、家長制的な旧民法の婚姻制度を否定し、個人の尊厳と両性の平等に基づく家庭生活のあり方を保障するものです。

記念講演は「豊島退職教員の会」共催

教科書を考える豊島区民の会

教科書の内容をよりよいものにしていくために、教科書採択制度を、専門職である教師の意見を尊重していくよう、改善を求めています。

【連絡先】 都教組豊島支部 03-6907-1920
【問合せ】 山田：090-9957-8864